

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		小中学校情操教育実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会教育部	課長名	安武 祐次
	施策	20	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	鶴田 裕之
	基本事業	61	徳育の推進			所属班	学務指導班	(内線)	2224
予算科目		会計一般	款 10	項 2	目 1	事業連番 10641 他	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑦ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	児童生徒の情操が豊かに育まれるよう、映画、演劇等の芸術鑑賞を実施した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	内容の企画立案、契約事務、実績確認事務、観劇料の支払い
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	児童生徒の情操が豊かに育まれるよう、映画、演劇等の芸術鑑賞を実施した。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		H26年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア:小学校で映画等の鑑賞を行った回数	回	児童生徒数及び消費税の増
イ:中学校で映画等の鑑賞を行った回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	小中学校児童生徒	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア:小学校児童数
		イ:中学校生徒数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	映画や芸術を鑑賞し、心豊かな児童生徒になってもらう。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア:映画や芸術を鑑賞した児童の割合
		イ:映画や芸術を鑑賞した生徒の割合
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
社会規範が身につけている。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
①活動指標	ア	回	7	7	7	7	7	7	7	7	
	イ	回	3	3	3	3	3	3	3	3	
②対象指標	ア	人	3,997	4,105	4,163	4,219	4,314	4,423	4,530	4,630	
	イ	人	1,643	1,744	1,877	1,837	1,878	1,935	1,990	2,040	
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	2,870	3,003	3,746	3,319	3,824	4,247	4,250	4,300
		(A)事業費計	千円	2,870	3,003	3,746	3,319	3,824	4,247	4,250	4,300
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	3	3	0
		正規職員従事人数	人	1	2	0	1	3	3	3	3
(B)人件費計	延べ業務時間	時間	10	10	32	100	32	32	32	32	
	(B)人件費計	千円	40	39	127	398	127	127	127	127	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,910	3,042	3,873	3,717	3,951	4,374	4,377	4,427	

事務事業名	小中学校情操教育実施事業	所属部	教育委員会教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 各学校とも時期こそ遅れ確実に実施されている。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 情操教育の一環として芸術鑑賞事業を実施するものであり、現状を維持していくためには、廃止・休止の影響は大きい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 学校教育の一環として実施するもので、同一な事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事業費である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間である。委託するような業務量ではない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 義務教育の一環であり、一部の個人・団体に利益を生じさせるものではない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 学校教育の一環であるため。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

小学校では、演劇鑑賞。中学校では、映画鑑賞と作品を選びすぐり鑑賞している。特に小学校での演劇鑑賞は、子ども達にとって貴重な体験になっている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						